

科目名	特別支援教育	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	谷山 優子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	○
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他	1分間スピーチ、学外フィールドワーク	実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]

・通常の学級にも在籍している発達障害や知的障害など様々な障害等により特別の支援を必要とする幼児児童生徒が授業において学習活動に参加している実感・達成感を持ちながら学び、生きる力を身に付けるよう関連機関や他の教員と連携し組織的に対応していくために必要な知識や支援方法を理解する。
・障害の有無にかかわらず、特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒の発達や支援、対応などを理解する。
・全学共通のディプロマ・ポリシーに基づき、基礎・基本となる力の「知識・技能」、考える力としての「思考力・判断力・表現力等の能力」、そして、それらを活用するときの態度に現れる「主体性・多様性・協働性」を身につける。

[授業概要]

この授業では、学校現場における教員経験があるものが、その経験を活かして、今日的な課題(特別支援教育等)への対応を指導をします。特別の支援を必要とする幼児や児童、生徒の障害特性および心身の発達を学びます。また、特別の支援を必要とする幼児や児童、生徒の教育課程及び支援の方法を学びます。障害はないが教育的ニーズのある幼児、児童、生徒の理解や支援についても学びます。全授業を通して、インクルーシブ教育システムを含めた特別支援教育に関する制度の理念や仕組みがわかることに重点を置いています。人と協働で課題を解決していく態度を身に付けるために、毎時間、アクティブラーニング(グループワークやロールプレイ)で授業を進めていきます。学んだこと実践し探究する宿題を課します。
テキストは、介護体験の授業でも用いるテキストですので、ずっと保管しておくようにしてください。
パソコンをノート代わりにしてもかまいません。授業の板書は自由に写真を撮ってかまいません。ICTを活用して授業を受けてみると効果(良い点)や課題(改善すべき点)が実感できるのではないかと考えるからです。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

・授業で出された宿題や探究課題について主体的に取り組む(復習と探究)。<2時間>
・授業で予告された次回の内容について探究する(反転授業のための予習)。<2時間>
※以上の準備学修を各回、4時間程度おこなうこと

[授業計画]

- 1.特別支援教育の制度・理念(グループワーク)
- 2.視覚障害、聴覚障害、知的障害、肢体不自由、病弱等さまざまな障害理解(グループワーク)
- 3.通常の学級に在籍する発達障害のある幼児児童生徒の特性(グループワーク)
- 4.自閉症スペクトラムの特性の理解と支援(グループワーク)
- 5.ADHDの特性の理解と支援(グループワーク)
- 6.学習障害の特性の理解と支援(グループワーク)
- 7.ユニバーサルデザインの授業とインクルーシブ教育(グループワーク)
- 8.障害のある子供の保護者理解(グループワーク)
- 9.障害のある児童生徒の学びの場(通級指導教室、特別支援学級)(グループワーク)
- 10.特別支援教育コーディネーターの仕事と関係機関連携(グループワーク)
- 11.母国語や貧困等から教育的ニーズのある幼児児童生徒の理解<学外フィールドワーク>
- 12.個別の指導計画と個別の教育支援計画・「ケース会議」ロールプレイ(グループワーク)
- 13.まとめ

科目名	特別支援教育	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	谷山 優子		
[成績評価方法] まとめテスト(論述あり)(80%)、授業ごとの小テスト(記述式)(20%) [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業ごとの小テスト(記述式)に対して、提示した評価基準でフィードバックをおこないます。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:教育1-1／教育学・保育学における基本的な知識・技能を修得している。 成績評価方法:毎回の授業の「まとめ」「小テスト」等への記述で評価していく。 学科DP番号／DP内容:教育3-2／社会や子どもが持つ多様な価値を尊重し、他者と協働して教育・保育を実践していくことができる。 成績評価方法:毎回の授業の「まとめ」「小テスト」等への記述で評価していく。 学科DP番号／DP内容:教育3-3／教員・保育者として、使命感や責任感をもって、教育・保育に関わることができる。 成績評価方法:毎回の授業の「まとめ」「小テスト」等への記述で評価していく。 [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:毎回の授業の「まとめ」「小テスト」等への記述で評価していく。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:毎回の授業の「まとめ」「小テスト」等への記述で評価していく。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:毎回の授業の「まとめ」「小テスト」等への記述で評価していく。 			

S63440 [EEH1-009]